

令和5年11月19日、第43回全幼研教育経営研修会埼玉が全国から200人余りのリモート参加と会場参加により開催されました。

夏の東京大会で70周年を迎えた本会は新しい時代の幼児教育に向かって新たな第一歩を歩み出しました。その初めの会が、埼玉での教育経営研修会になるということで、期待のこもった開会式に始まり、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長藤岡謙一様、埼玉県教育委員会教育長高田直芳様からご祝辞をいただきました。

藤岡謙一課長様から、幼児教育の置かれている現状をデータからお話いただき、だれもが今後の幼児教育に危機感を感じたと思います。

その後、千代田区立番町幼稚園中村千絵園長、沖縄にしのもり保育園池田哲子園長からの提案と、園田学園女子大学教授堀田博史氏のご講演は、

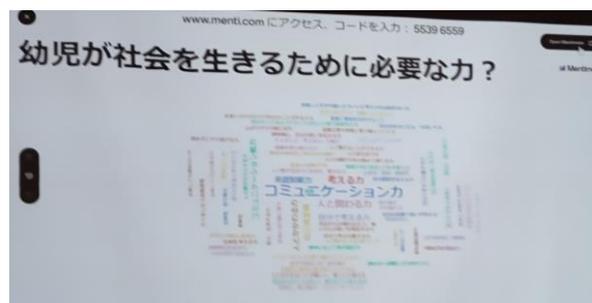
「AIの時代をたくましく、人間らしく 生きるために
～これからの教育を保護者・地域と共に考え、連携・
協働していく園経営～」のテーマのもとに、AIの時代の園経営について 考え合い、未来を生きる子どもたちが AIの時代の中でも幸せに 人間らしく暮らせるように「今育てておきたいこと・体験してほしいこと」は何かを考える研修会になりました。短い時間ではありましたがグループ討議、報告もあり、会場の皆さんの熱く語る姿が久々の対面の協議の良さを実感しました。リモートの皆様も地域を超えて各園の現状を語りあえたことでしょう。画面に映し出された参加者の表情から保育・園経営を語る喜びが伝わってきました。

今回はハイブリッド開催ということではありましたが、埼玉会館の会場と全国の参加者をつなぎ、園経営の工夫について学び合い、この成果をさらに次の香川県へつなぐことができたと思います。

昨年の教育経営研修会神奈川に引き続き、埼玉支部も少人数の支部でしたが、出井真理子運営委員長をはじめとする、埼玉支部の皆様の「おもてなしの心」で様々なご準備と運営のおかげで、大盛會に終わりました。皆様ありがとうございました。



ハイブリッドの良さはこれです。埼玉が全国とつながる！



スマホから回答した結果が直ぐに表示され吃驚！

藤岡課長様のお話にありました幼保小の架け橋プログラムに関する最新のサイトです。ぜひご覧ください。

URL

<https://www.youtube.com/watch?v=i8GZlEeSXim8>

説明者：無藤 隆 白梅学園大学名誉教授